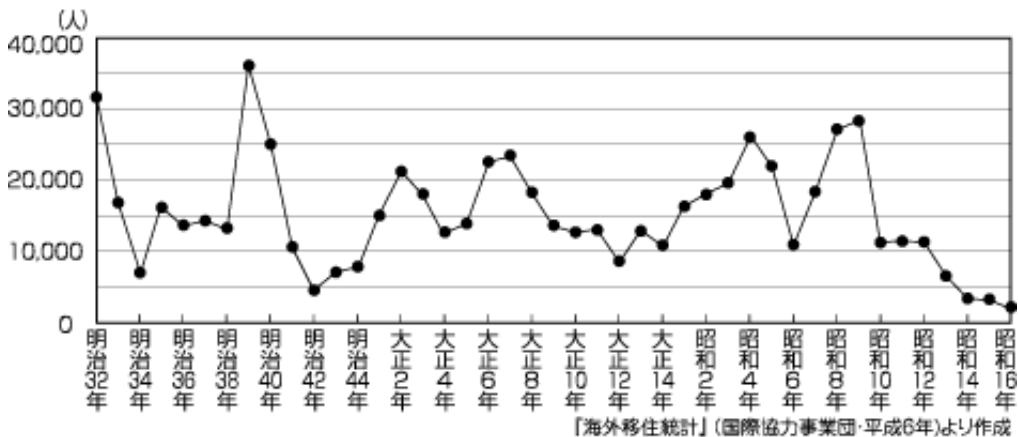


## 1.海外移住数の推移

『海外移住統計』(1994年・平成6年・国際協力事業団)から1899年(明治32年)以降の全国海外移住数の推移をみると、【グラフ1】のようになる。1906年(明治39年)が最も多く、次いで明治32年の明治期、1934年(昭和9年)、1933年(昭和8年)、1929年(昭和4年)の昭和戦前期、1918年(大正7年)、1917年(大正6年)、1913年(大正2年)の大正期と続き、いずれの年も2万人を超えている。逆に移住数の落ち込みが見られるのは、1901年(明治34年)ごろから日露戦争の1905年(明治38年)ごろ、明治末期、第一次大戦勃発の1915年(大正4年)、大正末期、1931年(昭和6年)、1934年(昭和9年)より後である。戦争の影響もあるが、相手国の排日移民制限、あるいは制限のための法の制定などが影響するケースが多い。北米合衆国(アメリカ合衆国)との関係をみても日露戦争後の1906年(明治39年)に起きたサンフランシスコでの日本人学童排斥問題、さらに、1908年(明治41年)のアメリカ向移住制限に関する日米紳士協約、1921年(大正10年)の緊急移民割当法に続く1924年(大正13年)のアメリカ排日移民法制定などがそうである。こうしたアメリカの制限が南米ブラジルの移民を増加させる一因と考えられるが、1931年(昭和6年)と1934年(昭和9年)より後については、ブラジル側に原因がある。【表1】【グラフ2】はそれを示している。

全国海外移住者数 【グラフ1】



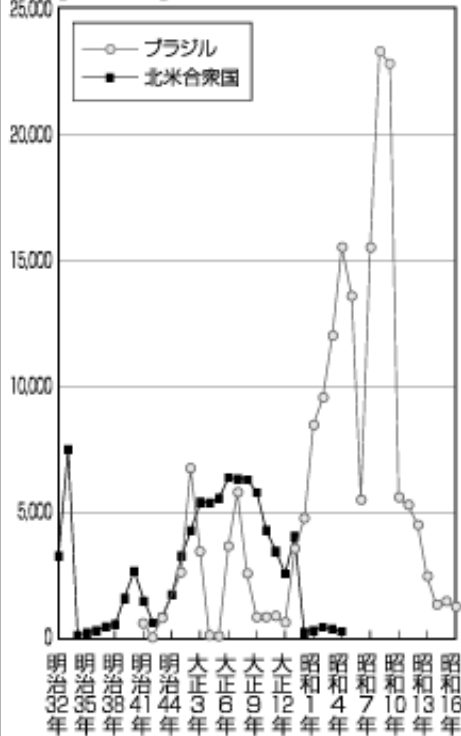
# ブラジルと北米合衆国の全国移住者数

【表1】

(単位:人)

	ブラジル	北米合衆国		ブラジル	北米合衆国
明治32年		3,140	大正10年	970	4,312
明治33年		7,585	大正11年	986	3,558
明治34年		32	大正12年	796	2,617
明治35年		70	大正13年	3,689	4,064
明治36年		318	大正14年	4,908	289
明治37年		640	昭和1年	8,599	344
明治38年		714	昭和2年	9,625	370
明治39年		1,715	昭和3年	12,002	306
明治40年		2,712	昭和4年	15,597	236
明治41年	799	1,585	昭和5年	13,741	
明治42年	4	777	昭和6年	5,565	
明治43年	911	926	昭和7年	15,092	
明治44年		1,963	昭和8年	23,299	
大正1年	2,859	3,378	昭和9年	22,960	
大正2年	6,947	4,381	昭和10年	5,745	
大正3年	3,526	5,553	昭和11年	5,357	
大正4年	39	5,498	昭和12年	4,675	
大正5年	35	5,761	昭和13年	2,563	
大正6年	3,883	6,457	昭和14年	1,314	
大正7年	5,956	6,306	昭和15年	1,564	
大正8年	2,732	6,273	昭和16年	1,277	
大正9年	970	5,959			

【グラフ2】



【海外移住統計】  
(国際協力事業団・平成6年)より作成

【表2】【グラフ3】は香川県の海外移住数の推移を表している。香川県の場合は昭和期になってから増加する。次に近隣県との比較をしてみよう。【グラフ4】は中国3県の海外移住数である。広島県、山口県はそれぞれ全国で1位、4位の移住数で、香川県のそれとは比較にならないほど多い。3県の全体的な傾向は特に明治期にハワイ、北米への移住数が多く、昭和期になるほど少なくなっている。香川県を含む四国4県の場合は【グラフ5】のように、高知県の1906年(明治39年)、愛媛県の1899年(明治32年)のように突出した年もあるが、四国4県は全体的にはむしろ昭和期に入ってからが多い。徳島県の海外移住は低調である。しかし、北海道移住は四国で徳島県が最も多く、西日本では最大の北海道移住者送出県であった。香川県も徳島県ほどではないものの北海道移住者送出県である。逆に高知県の北海道移住は少ない。四国では北海道移住の多い県ほど海外移住数が少なくなっている。

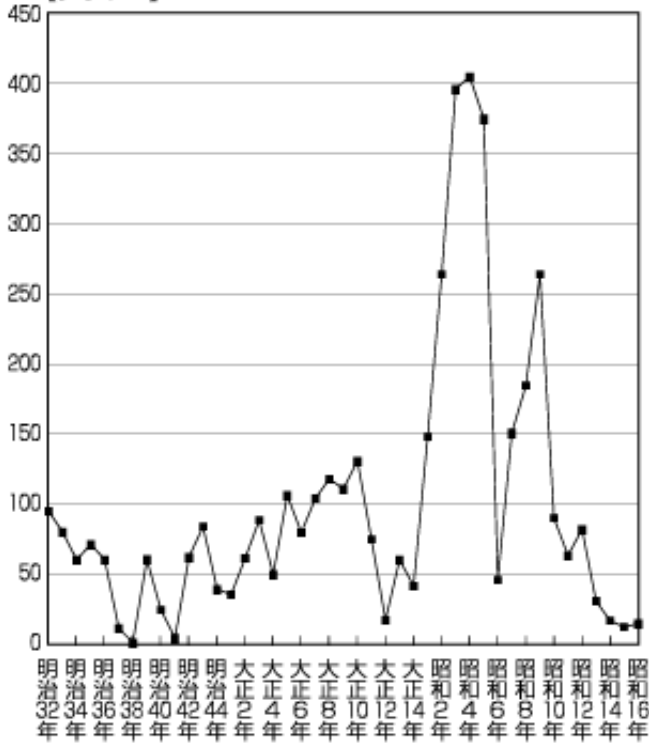
## 香川県の海外移住者数

【表2】

(単位:人)

明治32年	96	大正10年	132
明治33年	80	大正11年	77
明治34年	60	大正12年	18
明治35年	73	大正13年	60
明治36年	60	大正14年	43
明治37年	12	昭和 1年	149
明治38年	1	昭和 2年	264
明治39年	61	昭和 3年	394
明治40年	24	昭和 4年	404
明治41年	5	昭和 5年	377
明治42年	63	昭和 6年	47
明治43年	84	昭和 7年	152
明治44年	40	昭和 8年	184
大正 1年	37	昭和 9年	263
大正 2年	61	昭和10年	90
大正 3年	89	昭和11年	64
大正 4年	50	昭和12年	83
大正 5年	108	昭和13年	31
大正 6年	80	昭和14年	17
大正 7年	105	昭和15年	13
大正 8年	119	昭和16年	15
大正 9年	111	合計	4,296

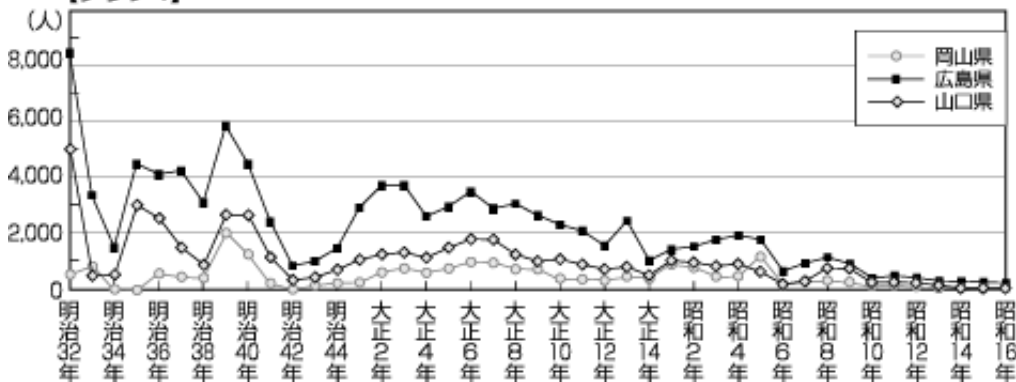
【グラフ3】



【海外移住統計】  
(国際協力事業団・平成6年)より作成

## 中国3県の海外移住者数

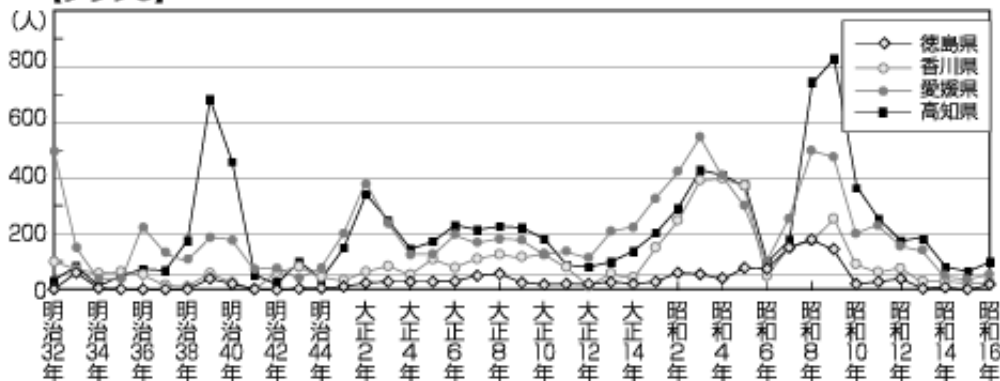
【グラフ4】



【海外移住統計】(国際協力事業団・平成6年)より作成

## 四国4県の海外移住者数

【グラフ5】



【海外移住統計】(国際協力事業団・平成6年)より作成

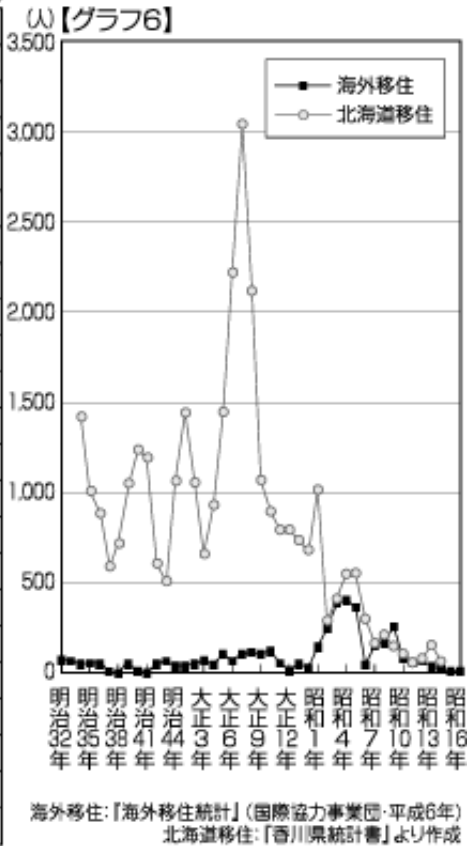
【表3】【グラフ6】は香川県の海外と北海道の移住数を比較したものである。北海道移住数が全体的に多いが、昭和期に入ると北海道移住数が少なくなり、海外移住数が多くなることで両方が同じような数になってくる。

【グラフ7】はブラジル移住数を北海道、朝鮮移住数と比較するものである。朝鮮への移住は大正期が多く、昭和期に入って減少する。大正期の朝鮮へは漁業移住が多かった。【グラフ8】は昭和戦前期の部分で、北海道移住数は昭和4、5年ごろに小さい山がありやや増加、この山の時がブラジルへの移住時期の山と重なり1929年(昭和4年)は人数も似かよっている。ブラジル移住はもう一度1934年(昭和9年)を頂点とする山があり、その後は減少する。

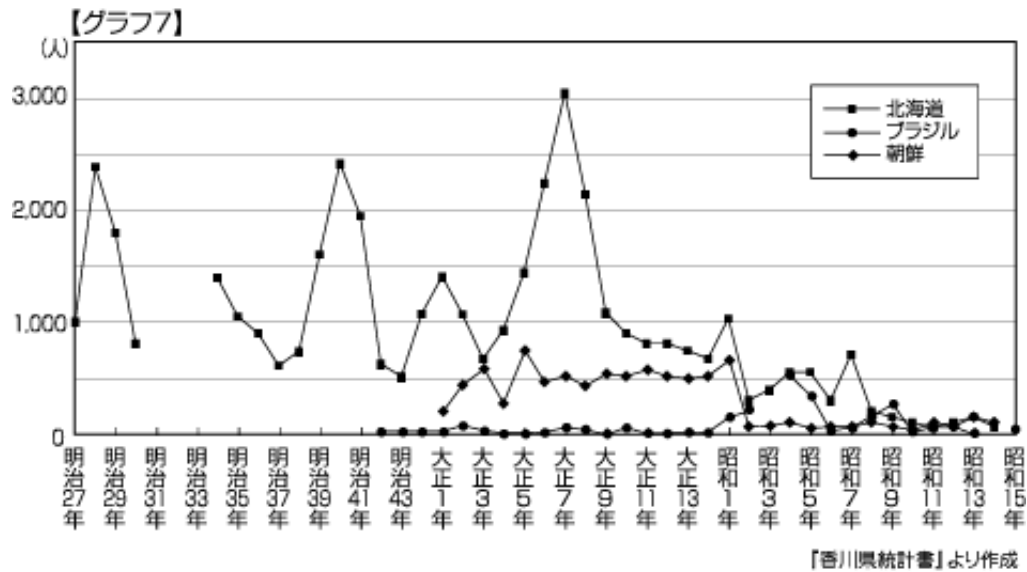
### 香川県の海外移住者と北海道移住者数

【表3】 (単位:人)

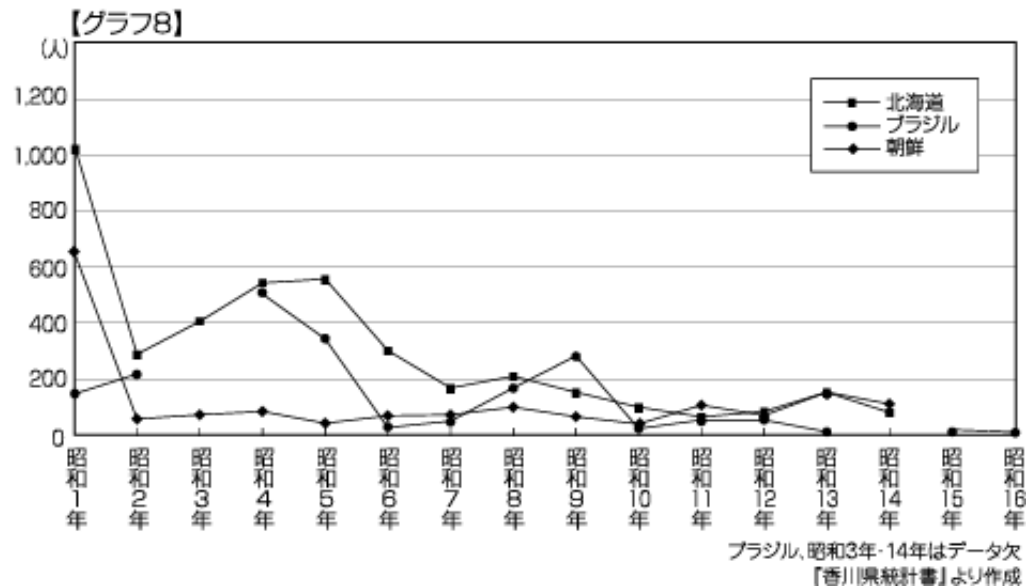
	海外移住	北海道移住		海外移住	北海道移住
明治32年	96		大正10年	132	893
明治33年	80		大正11年	77	793
明治34年	60	1,434	大正12年	18	797
明治35年	73	1,061	大正13年	60	736
明治36年	60	896	大正14年	43	684
明治37年	12	590	昭和1年	149	1,023
明治38年	1	725	昭和2年	264	298
明治39年	61	1,632	昭和3年	394	416
明治40年	24	2,433	昭和4年	404	545
明治41年	5	1,945	昭和5年	377	559
明治42年	63	602	昭和6年	47	302
明治43年	84	528	昭和7年	152	178
明治44年	40	1,083	昭和8年	184	210
大正1年	37	1,413	昭和9年	263	153
大正2年	61	1,071	昭和10年	90	111
大正3年	89	684	昭和11年	64	76
大正4年	50	931	昭和12年	83	96
大正5年	108	1,458	昭和13年	31	160
大正6年	80	2,229	昭和14年	17	86
大正7年	105	3,052	昭和15年	13	
大正8年	119	2,123	昭和16年	15	
大正9年	111	1,078	合計	4,296	35,084



### 香川県の北海道・ブラジル・朝鮮移住者数比較



### 香川県の昭和戦前期の北海道・ブラジル・朝鮮への移住者数比較



ブラジル、ハワイ、北米合衆国、ペルーの全国移住数は、【表4】【グラフ9】のとおりで、明治期にはハワイ移住が多く、昭和期に多いのはブラジルである。北米合衆国は1900年（明治33年）にも多いが大正期に多く移住している。

# 全国の海外移住者と北海道移住者数

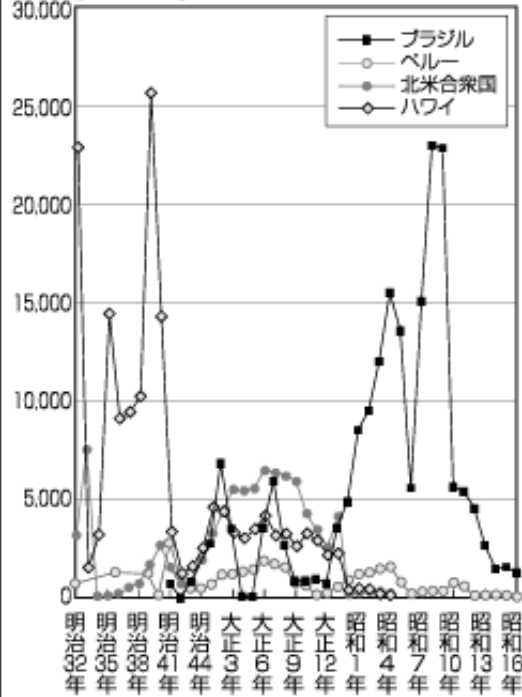
【表4】

(単位:人)

	ブラジル	ペルー	北米合衆国	ハワイ
明治32年		790	3,140	22,973
明治33年			7,585	1,529
明治34年			32	3,136
明治35年			70	14,490
明治36年		1,303	318	9,091
明治37年			640	9,443
明治38年			714	10,813
明治39年		1,257	1,715	25,752
明治40年		85	2,712	14,397
明治41年	789	2,880	1,585	3,455
明治42年	4	1,138	777	1,329
明治43年	911	483	926	1,717
明治44年		456	1,963	2,596
大正 1年	2,859	714	3,378	4,732
大正 2年	6,947	1,126	4,381	4,276
大正 3年	3,526	1,132	5,553	3,187
大正 4年	39	1,348	5,498	3,055
大正 5年	35	1,429	5,761	3,643
大正 6年	3,883	1,948	6,457	4,111
大正 7年	5,956	1,736	6,306	3,024
大正 8年	2,732	1,507	6,273	3,088
大正 9年	970	836	5,959	2,789
大正10年	970	717	4,312	3,215
大正11年	986	202	3,558	2,960
大正12年	796	333	2,617	2,112
大正13年	3,689	651	4,064	2,163
大正14年	4,908	922	289	485
昭和 1年	8,599	1,250	344	636
昭和 2年	9,625	1,271	370	526
昭和 3年	12,002	1,410	306	265
昭和 4年	15,597	1,585	236	119
昭和 5年	13,741	831		
昭和 6年	5,565	299		
昭和 7年	15,092	369		

	ブラジル	ペルー	北米合衆国	ハワイ
昭和 8年	23,299	481		
昭和 9年	22,960	473		
昭和10年	5,745	814		
昭和11年	5,357	583		
昭和12年	4,675	166		
昭和13年	2,563	177		
昭和14年	1,314	223		
昭和15年	1,564	111		
昭和16年	1,277	24		

(人)【グラフ9】



【海外移住統計】  
(国際協力事業団・平成6年)より作成